

- IMFは2020年の世界全体の成長率について-4.4%と、6月時点の予測から0.8%引き上げ。米国の大幅上方修正など先進国を引き上げた一方、インドの大幅下方修正で新興国を引き下げ。
- 2021年については0.2%引き下げ。IMFは、新型コロナウイルスの感染が再拡大し、ワクチンの普及が予想より遅いものとなった場合には、GDP成長悪化のリスクが高まるとしている。

2020年の世界全体のGDP成長率予測は-4.4%

13日に国際通貨基金（IMF）が発表した世界経済見通しで、IMFは2020年の世界全体の成長率について-4.4%と、6月時点の予測から0.8%引き上げました。

IMFは上方修正について、主に先進国において4-6月期の国内総生産（GDP）が予測を上回ったとし、都市封鎖（ロックダウン）後に経済活動が予想より早く改善し始めたことを挙げました。同様に7-9月期は力強い回復が示されたとしています。

インド以外の国・地域は総じて引き上げ

地域別にみると、IMFは先進国全体の2020年予測を6月時点から2.3%引き上げました。米国の上方修正幅が3.7%と、大幅なものになったほか、ユーロ圏を1.9%引き上げました。日本や英国の上方修正幅は1%未満にとどまりました。

一方、新興国全体については予測を0.2%引き下げました。インドの下方修正幅が5.8%と、大幅なものになったことが足を引っ張るかたちとなりました。ただし、中国やブラジル、ロシアなど、インド以外の新興国を上方修正しました。

2021年の世界全体の成長率予測は0.2%引き下げ

IMFは2021年の世界全体の成長率について5.2%と、6月時点の予測から0.2%引き下げました。新興国全体は0.2%引き上げ、先進国全体は0.9%引き下げました。IMFは、2020年の修正を考慮したうえで、今後も根強いソーシャルディタンスが経済活動を抑制することや来年にかけては先進国、新興国ともに失業率上昇が見込まれることなどを挙げています。

このほか、IMFは、新型コロナウイルスの感染が再拡大し、ワクチンの普及が予想より遅いものとなった場合には、GDP成長悪化のリスクが高まるとしており、依然として新型コロナウイルス感染状況が今後の世界経済動向の鍵を握っているといえます。

IMFによるGDP成長率予測

	2019年	2020年	2021年
全世界計	2.8%	-4.4%	5.2%
先進国	1.7%	-5.8%	3.9%
米国	2.2%	-4.3%	3.1%
ユーロ圏	1.3%	-8.3%	5.2%
日本	0.7%	-5.3%	2.3%
英国	1.5%	-9.8%	5.9%
新興国	3.7%	-3.3%	6.0%
中国	6.1%	1.9%	8.2%
インド	4.2%	-10.3%	8.8%
ブラジル	1.1%	-5.8%	2.8%
メキシコ	-0.3%	-9.0%	3.5%
ロシア	1.3%	-4.1%	2.8%

※2020年以降は予測値
インドは会計年度ベース

出所：IMF「World Economic Outlook, October 2020」をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。



アセットマネジメントOne

商号等：アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。